

7月市長定例記者会見

日時：令和3年7月9日(金) 午前9時30分
場所：掛川市役所5階 全員協議会室

1 開会

2 市長話題提供

- (1) 被災地への支援 【危機管理課】資料1-1
- (2) 新型コロナワクチン接種 【健康医療課】資料1-2
- (3) 令和3年度市民等意識調査の集計結果 【企画政策課】資料1-3
- (4) 令和2年(2020年)国勢調査結果速報 【企画政策課】資料1-4

3 報告事項

- (1) 東京2020大会掛川市出身選手の応援事業 【文化・スポーツ振興課】資料2-1
- (2) 文化芸術活動・情報発信拠点「まちかどLABORATORY」開館
【文化・スポーツ振興課】資料2-2
- (3) ノートルダム大聖堂ステンドグラス修復寄付 【文化・スポーツ振興課】資料2-3

4 情報提供(主な行事について)

- (1) 中東遠総合医療センター 第33回医療市民講座 【健康医療課】資料3-1
とき：令和3年7月31日(土) 午前10時～正午
ところ：中東遠総合医療センター 3階 大会議室
- (2) 第49回伝統工芸日本金工展 【文化・スポーツ振興課】資料3-2
とき：令和3年8月7日(土)～10月8日(金)
ところ：掛川市二の丸美術館

5 議会日程

全員協議会 7月21日(水) 午前9時～ 本会議場

6 質疑応答 (進行：幹事社 静岡第一テレビ・静岡新聞)

7 閉会

8月市長定例記者会見 8月10日(火) 午前9時30分～ 全員協議会室

被災地への支援 熱海市の「伊豆山土砂災害」等への支援

令和3年7月3日（土）に発生した大規模土砂災害「伊豆山土砂災害」や洪水災害等により被災した熱海市、沼津市、富士市に対して、掛川市として次の支援を実施します。

1 人的支援について

- ・緊急援助隊（第1陣）として、消防本部より車両1台、人員2名が7月3日（土）に出動しました。
- ・7月5日（月）に車両1台、人員4名を追加派遣し、その後は4名が3日間のサイクルで交替しながら災害派遣を継続しています。

2 市民からの支援について

- ・7月6日（火）に市内7箇所の公共施設へ義援金募金箱を設置しました。
市民の皆様の温かいご支援をよろしくお願ひします。

(1) 設置期間

令和3年7月6日（火）～令和3年8月31日（火）

(2) 設置場所

掛川市役所本庁 1階総合受付
掛川市役所大東支所 1階市民窓口係
掛川市役所大須賀支所 1階市民窓口係
とうもんの里
徳育保健センター（新型コロナウイルスワクチン接種会場）
大東保健センター（新型コロナウイルスワクチン接種会場）
B&G体育館（新型コロナウイルスワクチン接種会場）

※B&G体育館については7月31日まで

3 沼津市、富士市への物的支援について

- ・掛川茶商協同組合様と掛川市農業協同組合様から寄贈いただいた掛川茶のペットボトル（500ml×24本）を40ケースを、沼津市及び富士市のボランティアセンターへ届けます。

■本件に関する担当者

危機管理課 水野・野田 電話 0537-21-1131

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

新型コロナウイルスワクチン接種 ワクチン供給不足による接種予約受付の制限等

1 現在の取組状況

- ・7月1日に接種券を発送した60歳から64歳の方の約7,500人と、集団接種会場で接種可能と医師が判断した基礎疾患を有する方の予約を順次受付。
- ・59歳以下の方の接種券が発送可能となるよう準備中。
- ・国の方針により全国的にワクチンの供給量を調整する事態が発生。
- ・個別接種については、7月6日（火）以降当分の間、新たな接種予約を一時停止。
- ・集団接種についても、7月31日（土）以降の予約受付をワクチンの供給量に合わせて順次行うことに見直し。

2 接種券の発送状況

区分	人数	発送状況
65歳以上	約32,000人	発送済み
64歳～60歳	約7,500人	7月1日発送済み
基礎疾患のある方	—	申請受付した方から発送中
59歳以下(12歳～15歳含む)	約64,000人	ワクチン供給量を鑑み 今後順次発送予定

3 予約受付状況・予約枠 など

接種種類	予約受付状況	予約枠	接種実施状況
個別接種	停止中	7月6日以降の新規予約受付を一時停止	実施中
集団接種	受付中※	7月25日までの予約枠残数 約1,000枠（7月7日時点）	実施中

※7月25日までの残り枠が埋まった段階で予約を一時見合わせ。

4 接種者数（7月7日時点）

1回目接種者数 17,524人

2回目接種者数 6,825人

※ワクチン接種記録システム（VRS）より

■本件に関する担当者

健康医療課 新型コロナウイルスワクチン接種対策係 道田・鈴木（電話 0537-64-5671）

令和3年度市民等意識調査の集計結果 掛川市が住みやすいと感じる市民 78.3%

【目的・概要】

令和3年度市民意識調査及び高校生意識調査の集計結果の概要について報告します。

令和元年度に改定した「第2次掛川市総合計画」の推進にあたり、掛川市民が掛川市の現状をどう感じているか、また、掛川市の様々な施策について、何に満足し何が不満なのかを把握し、さらなる市民サービスの向上と着実な行政運営に繋げるため、アンケート調査を実施しました。

併せて、高校生の進路に対する意識や理想の家族像などに関する意識を把握し、人口減少、人口流出に関する施策などを推進するため、高校生を対象とした意識調査を実施しました。

【アピールポイント】

- ・掛川市が住みやすいと思う市民の割合 78.3%（前年比 0.1 ポイント減少）
- ・浜岡原子力発電所の今後について
 - 「廃炉」もしくは「停止」と回答した割合 44.6%（前年比増減なし）
 - 「安全が確認できれば稼働」と回答した割合 29.1%（前年比 0.4 ポイント減少）
- ・掛川市の自慢はお茶であると回答した割合 75.7%
- ・横須賀高校の存続を希望すると回答した割合 42.5%、わからないと回答した割合 41.3%

1 市民意識調査

- (1) 調査対象：市内在住の18歳以上の市民の中から2,500人を抽出
- (2) 調査期間：令和3年4月27日～令和3年5月14日
- (3) 調査方法：郵送により発送・回収

2 高校生意識調査

- (1) 調査対象：市内の4つの高等学校に在席する3年生 887人
- (2) 調査期間：令和3年5月19日～令和3年6月1日
- (3) 調査方法：各高校経由で配布・回収

3 資料の添付 有 ・ 無（「市民意識調査報告書」、「高校生意識調査報告書」）

■本件に関する担当者

企画政策課地域創生戦略室経営戦略係 湯澤・雪山（電話 0537-21-1127）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

I 市民意識調査の結果

1 回収状況

1, 349枚回収（回収率 54.0%）

年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
配布数	2,500通	2,500通	2,500通	2,500通	2,500通
回収数	1,135通	1,173通	1,014通	1,368通	1,349通
回収率	45.4%	46.9%	40.6%	54.7%	54.0%

※有効回答のみ

【年代別の回収状況】

	配布数（通）	構成比（%）	回収数（通）	回収率（%）
18歳以上20歳未満	88	3.4	26	29.5
20歳代	402	16.1	147	36.6
30歳代	402	16.1	172	42.8
40歳代	402	16.1	204	50.7
50歳代	402	16.1	207	51.5
60歳代	402	16.1	277	68.9
70歳代以上	402	16.1	305	75.9
無回答	0	0	11	
計	2,500	100.0	1,349	54.0

2 結果概要 ※詳細は、別冊「市民意識調査報告書」をご覧ください。

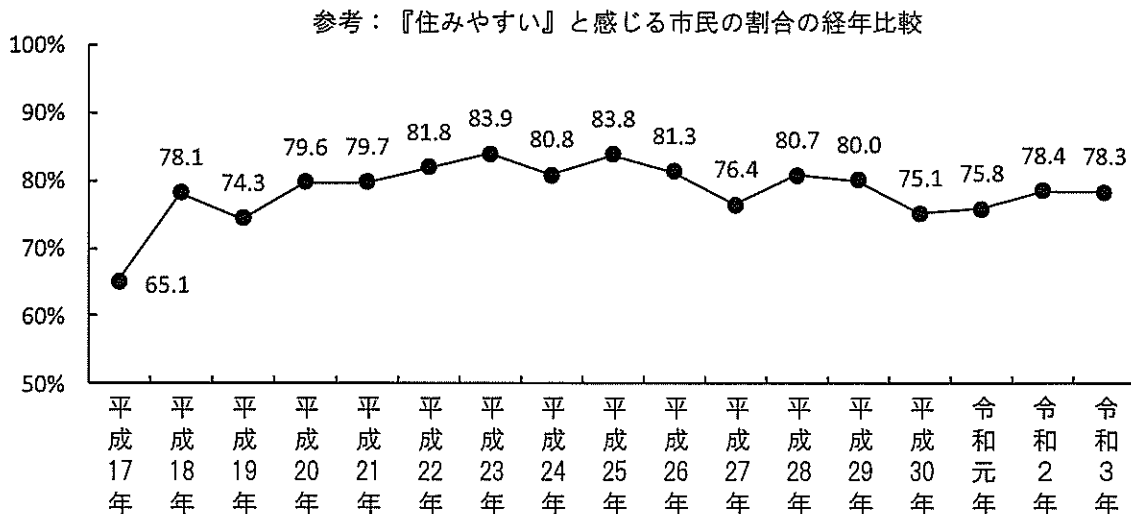
(1) 掛川市の住みやすさについて（報告書：10ページ）

①住みやすさの割合

掛川市が住みやすいと思う市民の割合は78.3%で、前年と比べて0.1ポイントの減少となりました。中学校区別では、掛川区域が70%～80%台、大東区域がおおむね70%、大須賀区域では50%台となり、南部地域において、住みやすさを実感していない方の割合が多い結果となっています。

【参考：平成17年度以降の経年変化】

(%)



※「とても住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した割合を合算

【中学校区別住みやすさの割合】

(%)

	東	西	栄川	北	原野谷	桜が丘	大浜	城東	大須賀
R3	81.8	85.3	82.9	87.5	79.0	79.1	70.0	69.3	52.1
R2	85.2	85.6	82.0	85.0	73.7	78.0	66.1	68.1	62.2
前年比	△3.4	△0.3	0.9	2.5	5.3	1.1	3.9	1.2	△10.1

②住みやすさの理由

住みやすさの理由としては、「新幹線の駅や高速道路のインターチェンジなど広域交通のアクセスの便がよい」が59.4%と最も多く、次いで「気候が温暖」が58.3%という結果でした（3つ以内で回答、上位3項目を記載）。

「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人・・・1,057人

	選 択 肢	件数	比率	前年比
1.	新幹線の駅や高速道路のインターチェンジなど広域交通のアクセスの便がよい	628件	59.4%	1.2
2.	気候が温暖	616件	58.3%	3.1
3.	自然が豊か	583件	55.2%	△1.6

③住みにくさの理由

住みにくさの理由としては、「地域内のバス路線などの公共交通網が整備されていない」が46.4%で最も多く、次いで「買い物場所やレクリエーション施設が充実していない」が44.9%という結果でした（3つ以内で回答、上位3項目を記載）。

「とても住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人・・・265人

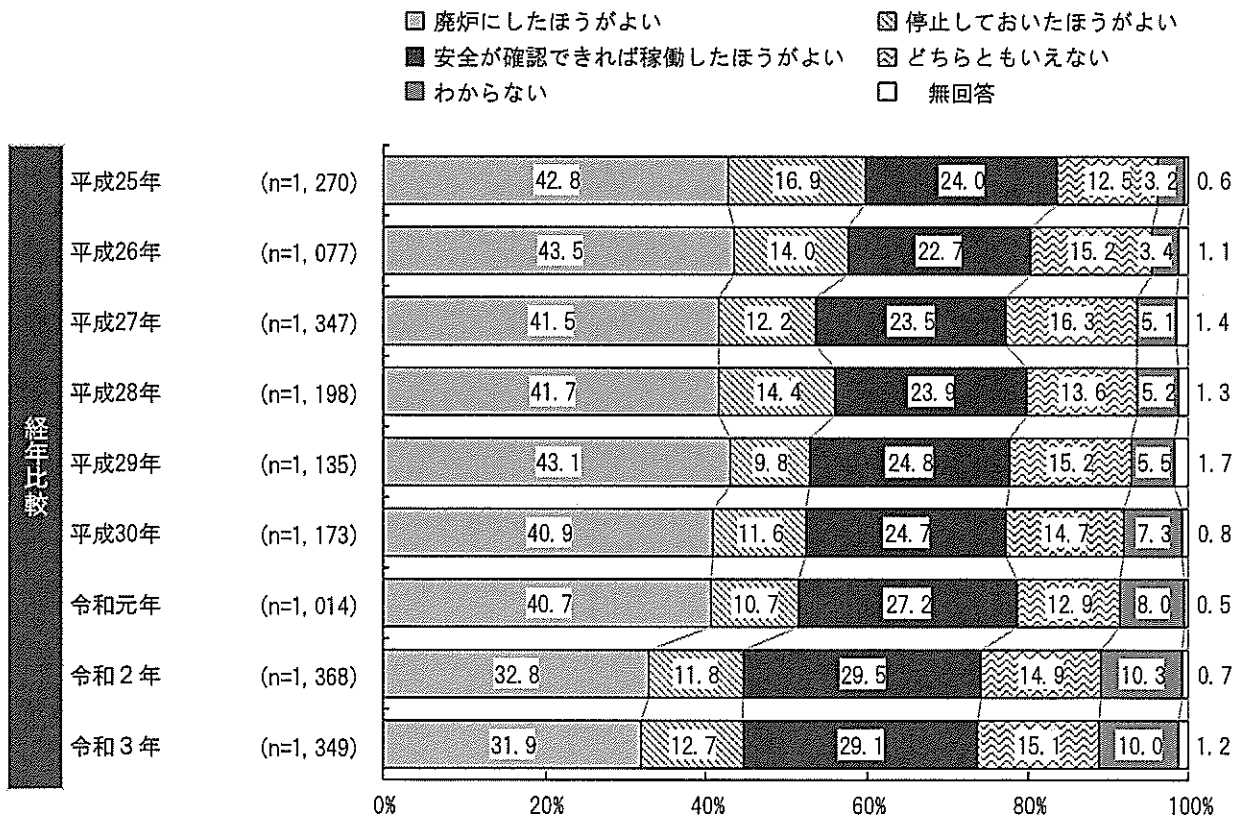
	選 択 肢	件数	比率	前年比
1.	地域内のバス路線などの公共交通網が整備されていない	123件	46.4%	0.6
2.	買い物場所やレクリエーション施設が充実していない	119件	44.9%	1.7
3.	広域交通のアクセスの便がよくない	101件	38.1%	6.7

(2) 浜岡原子力発電所の今後について（報告書：15 ページ）

浜岡原子力発電所の今後については、「廃炉にした方がよい」が 31.9%で、前年と比べて 0.9 ポイント減少しました。「停止しておいた方がよい」の 12.7%と合わせると 44.6%となり、昨年と変わらず「廃炉」もしくは「停止」との回答が5割を下回る結果となりました。

(%)

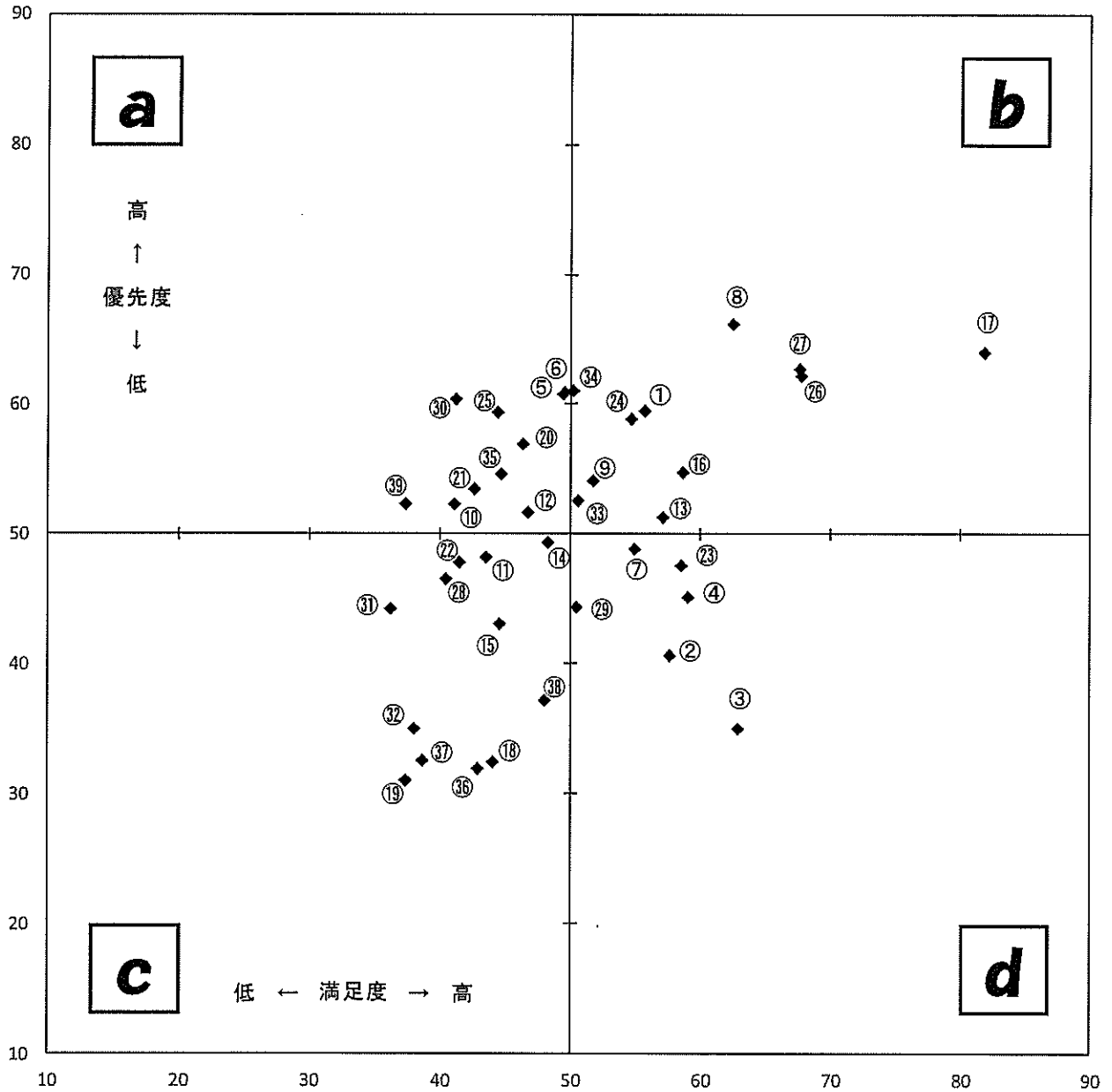
項目\年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	前年比
廃炉にした方がよい	42.8	43.5	41.5	41.7	43.1	40.9	40.7	32.8	31.9	△0.9
停止しておいた方がよい	16.9	14.0	12.2	14.4	9.8	11.6	10.7	11.8	12.7	0.9
安全が確認できれば稼働	24.0	22.7	23.5	23.9	24.8	24.7	27.2	29.5	29.1	△0.4
どちらともいえない	12.5	15.2	16.3	13.6	15.2	14.7	12.9	14.9	15.1	0.2
わからない	3.2	3.4	5.1	5.2	5.5	7.3	8.0	10.3	10.0	△0.3
無回答	0.6	1.1	1.4	1.3	1.7	0.8	0.5	0.7	1.2	0.5



(3) ポートフォリオ分析によるプロジェクトの市民ニーズ（報告書：17 ページ）

重要プログラムの満足度と優先度を点数化して偏差値を算定し、縦軸に優先度、横軸に満足度をとってグラフ化しました。座標の原点は、満足度と優先度の平均値としています。

ポートフォリオ分析表



①満足度が低く、優先度が高い施策：aゾーン

サービスの水準が低く、優先度が高いことから、不満の解消に向けて積極的に投資すべき施策

個別施策	満足度	優先度
⑤ 子育てしやすい環境の整備	49.4	60.8
⑥ 安心して出産・子育てできる環境の整備	49.5	60.8
⑩ 障がいのある人の自立した生活支援の充実	41.1	52.3
⑫ 省エネ・省資源、再生可能エネルギーの普及	46.8	51.7
⑳ 雇用・就業の環境の整備	46.3	56.9
㉑ 商工業の更なる発展	42.6	53.4
㉕ 災害に強い住宅や都市基盤施設等の整備	44.5	59.4
⑳ 地域の足となる公共交通の整備	41.2	60.3
㉓ 安全確保と長寿命化に向けた道路施設の維持管理	44.7	54.7
㉙ 健全で計画的な行政経営	37.4	52.3

②満足度・優先度ともに高い施策：bゾーン

サービスは一定の水準に至っているが、優先度が高いことから、積極的に現状維持すべき施策

個別施策	満足度	優先度
① 市民総ぐるみで取り組む子どもの育成	55.8	59.5
⑧ 誰もが安心して医療を受けられる環境の整備	62.5	66.2
⑨ 高齢者が生き生きと暮らせる環境づくり	51.7	54.0
⑬ 誰もが集える身近な公園・緑地の充実	57.2	51.3
⑯ 快適に暮らせる生活環境の確保	58.6	54.7
⑰ 安全な水の安定した供給	82.0	63.9
㉒ 自助・共助・公助による防災・減災対策の強化	54.7	58.8
㉖ 消防救急体制の充実による被害を最小限に食い止める環境	67.8	62.2
㉗ 交通安全と防犯の意識向上と環境整備	67.7	62.7
㉚ 渋滞の無い快適な道路交通の確保	50.6	52.6
㉜ 歩行者も車も安全に通行できる生活道路の整備	50.2	61.0

【満足度のランキング（上位10位）】

順位	個別施策
1位	17. 安全な水の安定した供給
2位	26. 消防救急体制の充実による被害を最小限に食い止める環境
3位	27. 交通安全と防犯の意識向上と環境整備
4位	3. 郷土文化の保存と文化芸術活動の振興
5位	8. 誰もが安心して医療を受けられる環境の整備
6位	4. スポーツを楽しめる環境の整備
7位	16. 快適に暮らせる生活環境の確保
8位	23. 儲かる茶業と「掛川茶」を楽しむ環境
9位	2. 市民の生涯学習の拠点の整備
10位	13. 誰もが集える身近な公園・緑地の充実

【優先度のランキング（上位10位）】

順位	個別施策
1位	8. 誰もが安心して医療を受けられる環境の整備
2位	17. 安全な水の安定した供給
3位	27. 交通安全と防犯の意識向上と環境整備
4位	26. 消防救急体制の充実による被害を最小限に食い止める環境
5位	34. 歩行者も車も安全に通行できる生活道路の整備
6位	6. 安心して出産・子育てできる環境の整備
7位	5. 子育てしやすい環境の整備
8位	30. 地域の足となる公共交通の整備
9位	1. 市民総ぐるみで取り組む子どもの育成
10位	25. 災害に強い住宅や都市基盤施設等の整備

(4) 掛川市の自慢はお茶であるかについて

「思う」が35.4%で、「まあ思う」が40.3%でしたので、併せて75%がお茶を自慢だと感じていることがわかりました。

選択肢	件数	比率
1. 思う	477	35.4%
2. まあ思う	543	40.3%
3. あまり思わない	188	13.9%
4. 思わない	58	4.3%
5. わからない	34	2.5%
無回答	49	3.6%
計	1,349	100.0%

(5) 横須賀高校の存続について

「希望する」が26.5%で、「少しは希望する」が16.0%でしたので、併せて42.5%が横須賀高校の存続を希望していることがわかりました。

選択肢	件数	比率
1. 希望する	358	26.5%
2. 少しは希望する	216	16.0%
3. あまり希望しない	80	5.9%
4. 希望しない	85	6.3%
5. わからない	557	41.3%
無回答	53	3.9%
計	1,349	100.0%

Ⅱ 高校生意識調査の結果

1 回収状況

872枚 回収（回収率 98.3%）

2 結果概要 ※ 詳細は、別冊「高校生意識調査報告書」をご覧ください。

(1) 高校卒業後の進路について（報告書：7ページ）

高校卒業後の進路に関して調査したところ、「県外の大学・専門学校等へ進学したい」が42.0%でもっとも多く、全体の70.4%が進学を希望しています。

あわせて、進学後の進路に関しても調査したところ、「県外で就職したい」が48.5%、「掛川市以外の県内で就職したい」が22.6%、「掛川市内で就職したい」が10.9%となりました。

掛川市以外での就職を希望した理由については、「都会で働きたい」が35.5%、「掛川市に自分が就きたいと思う仕事がない」が25.0%となりました。（2つ以内で回答）

【高校卒業後の進路】

選択肢	件数	比率
1. 県内の大学・専門学校等へ進学したい	248	28.4%
2. 県外の大学・専門学校等へ進学したい	366	42.0%
3. 掛川市内に就職したい	42	4.8%
4. 出身市町・今住んでいる市町（掛川市以外）に就職したい	44	5.0%
5. 掛川市以外の県内に就職したい	67	7.7%
6. 県外で就職したい	5	0.6%
7. まだ考えていない・特に決まっていない	36	4.1%
無回答	64	7.3%
計	872	100.0%

【進学後の進路】

「県内の大学・専門学校等へ進学したい」、「県外の大学・専門学校等へ進学したい」と回答した人…614人

選択肢	件数	比率
1. 掛川市で就職したい	67	10.9%
2. 出身市町・今住んでいる市町（掛川市以外）に就職したい	100	16.3%
3. 掛川市以外の県内で就職したい	139	22.6%
4. 県外で就職したい	298	48.5%
5. 外国で就職したい	6	1.0%
無回答	4	0.7%
計	614	100.0%

(2) 掛川市に住みたい理由について（報告書：11ページ）

掛川市に住みたいと回答した人は162人（18.6%）で、住みたい理由は、「掛川市が一番住みやすいと思う」が53.1%と最も多く、次いで「友人から離れたくない」が22.2%、「親と一緒に住みたい（親の面倒をみる必要がある）」が17.3%でした（理由は2つ以内で回答）。

【掛川市に住みたい理由】

※「掛川市に住みたい」…162人

選択肢	件数	比率
1. 長男または長女で、家を継がなければならない	8	4.9%
2. 親と一緒に住みたい（親の面倒をみる必要がある）	28	17.3%
3. 友人から離れたくない	36	22.2%
4. 掛川市が一番住みやすいと思う	86	53.1%
5. 掛川市に自分が就きたいと思う仕事がある	21	13.0%
6. 新幹線掛川駅や高速道路インターチェンジ等があり便利だから	23	14.2%
7. その他	16	9.9%
無回答	-	-
回答者数	162	-

※複数回答

(3) 理想の家族像について（報告書：13 ページ）

結婚については、「はい」が 83.0%と高く、また、子どもについても、「欲しい」が 80.3%と高い割合となりました。

理想の家族像としては、「自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親とは離れて住む」が 46.7%となりました。次いで「自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親の近くに住む」が 27.8%で、二世代の核家族を理想とする意見が 7割を占めました。

【将来結婚したいか】

選択肢	件数	比率
1. はい	724	83.0%
2. いいえ	140	16.1%
無回答	8	0.9%
計	872	100.0%

【将来子どもがほしいか】

選択肢	件数	比率
1. 欲しい	700	80.3%
2. 欲しくない	157	18.0%
無回答	15	1.7%
計	872	100.0%

【理想とする家族の形態】

選択肢	件数	比率
1. 一人暮らし	116	13.3%
2. 自分たち夫婦の二人暮らし	53	6.1%
3. 自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親とは離れて住む	407	46.7%
4. 自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親の近くに住む	242	27.8%
5. 自分または相手の親、自分たち夫婦、子どもの三世代で同居する	29	3.3%
6. その他	11	1.3%
無回答	14	1.6%
計	872	100.0%

以上

令和2年（2020年）国勢調査の集計結果（速報値） 前回の平成27年の結果から人口387人増加

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・**珍しい**

【目的・概要】

令和2年10月1日午前零時現在を基準として行われた令和2年国勢調査の速報値がまとまりましたので、お知らせします。

（1）人口

前回から387人増加し、11万4,989人となりました。男女の内訳については、男性が574人増加し57,700人となり、一方、女性は187人減少し57,289人でした。

県内人口は65,085人減少し、県内35市町で増加した市町は、掛川市を含めて4市町でした。人口増加率・増加数は県内4位、人口10万人以上で人口が増加したのは唯一となりました。

（2）世帯数・1世帯当たり人員

世帯数は、2,538世帯増加し、43,588世帯となり、過去最多となりました。1世帯当たりの人員は、0.55人減少し、2.24人となりました。

	今回の調査 (令和2年)	前回の調査 (平成27年)	増減数	増減率
人口	114,989人	114,602人	387人	0.3%
うち男性	57,700人	57,126人	574人	1.0%
うち女性	57,289人	57,476人	△187人	△0.3%
世帯数	43,588世帯	41,050世帯	2,538世帯	6.2%
1世帯当たり人員	2.24人	2.79人	△0.55人	△19.7%

【アピールポイント】

- ・人口は11万4,989人で前回から387人の増加
- ・人口増加数、人口増加率は県内4位、人口10万人以上の都市では1位

※詳細な集計結果については、令和3年11月に総務省から公表される予定です。

■本件に関する担当者

企画政策課地域創生戦略室経営戦略係 湯澤・雪山

(電話 0537-21-1127)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

東京 2020 大会に出場する掛川市出身選手を 様々な形で応援します

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

【目的・概要】

東京 2020 大会は、オリンピックが7月23日(金)に、パラリンピックが8月24日(火)に、いよいよ開幕します。

掛川市出身者では、オリンピックソフトボール競技に山崎早紀選手(トヨタ自動車)、パラリンピック陸上競技に山本篤選手(新日本住設)、パラリンピック自転車競技に杉浦佳子選手(楽天ソシオビジネス)の3選手が出場予定で、メダル獲得も期待されています。

市では、3選手の健闘を祈り、市民とともに応援事業に取り組んでいます。

なお、コロナ禍のため、PV(パブリックビューイング)は実施しません。

【事業内容】

1 選手の出身小学校児童らによる応援(メッセージカード)

3選手の出身小学校で、児童及び教職員が手書きの応援メッセージカードを作成し、大会出場前までに選手に贈ります。

選手名	学校名	人数	状況
山崎早紀	西郷小	約500人	作成済 ※ご両親に手渡し(7/9)
山本 篤	和田岡小	約180人	夏休み前までに作成し、大会前までに贈る
杉浦佳子	中小	約150人	夏休み前までに作成し、大会前までに贈る

2 応援看板の設置

3選手を応援する看板及び横断幕を市内各所に設置します。

種類	サイズ	数量	設置場所
看板	縦3m×横10m	1	掛川駅(北口ロータリー北側)
横断幕	縦0.9m×横3m	10	市役所(本庁、支所)出身小中学校など

○デザイン



コロナ禍における市民の文化芸術活動・情報発信拠点 「まちかど LABORATORY」開館・オープニングセレモニー開催

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

【目的・概要】

コロナウイルスの感染拡大により、市民は文化芸術活動の自粛や、発表機会の制限を余儀なくされました。

コロナ禍においても市民の文化芸術活動を継続するため、活動発表の場、活動のPR、情報発信など、市民活動の継続を応援するための拠点「まちかど LABORATORY(ラボラトリー)」(略称：かどラボ)を設置します。なお、開館に先立ちオープニングセレモニーを開催します。

【アピールポイント】

- ・ コロナ禍における、掛川の文化活動、発表の機会、活動団体のPR等の拠点です。
- ・ 期間中は、文化活動を行う市民により、会場での文化活動や活動発表のほか、デジタルコンテンツを活用した発信も行います。
- ・ オープン前日に行うオープニングセレモニーでは、市内学生による楽器演奏により開会式を盛り上げます。

◆かどラボ オープニングセレモニー

- 1 と き 令和3年7月30日(金) 午後3時～4時(予定)
- 2 と ころ かどラボ 前広場(城下6-16) (雨天時かどラボ室内)
- 3 駐 車 場 有 ・ 無 (場所) 大日本報徳社駐車場

◆かどラボ 会館日等

- 1 会館期間 令和3年7月31日(土)～9月26日(日)
開館 午前10時～午後5時(夜間利用の場合は午後8時まで)
- 2 運営委託先 かけがわ街づくり株式会社
- 3 利用団体 今後募集により決定
- 4 添付資料 有 ・ 無 (裏面) 掛川文化・創造拠点事業「まちかど LABORATORY」

■本件に関する担当者

文化・スポーツ振興課文化振興係 佐藤・出野(電話 0537-21-1126)
かけがわ街づくり株式会社 渡邊(0537-61-1151)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

令和3年度 掛川文化・創造拠点事業 「まちかど LABORATORY」

(文化振興係)

1 事業概要

コロナ禍は、市民による文化芸術活動の自粛や発表機会の制限を余儀なくした。このような中であっても、市民が前向きに文化芸術活動を実施できるよう、発表の場の提供、活動のPR・情報発信などを中心に、市民活動の継続を応援するための拠点として「まちかど LABORATORY (ラボラトリー)」(略称 かどラボ)を設置し、掛川の文化芸術の未来を発信する。

(1) まちかど LABORATORY 概要

- ① 開館期間 令和3年7月31日(土)～9月26日(日)
午前10時～午後5時(夜間利用の場合は午後8時まで)
- ② 委託先 かけがわ街づくり株式会社
- ③ 出演団体 委託先による募集により決定
- ④ 支援内容 ・デジタルコンテンツの活用可能な活動スペースの貸出
・文化活動のPR ・提案事業実施に伴うサポート 等

(2) まちかど LABORATORY オープニングセレモニー

開館に先立ち、オープニングセレモニーを開催する。

- ① と き 令和3年7月30日(金) 午後3時～4時00分(予定)
- ② と ころ かどラボ 前広場(城下6-16) (雨天時かどラボ室内)
- ③ 内 容 ・主催あいさつ 久保田崇 掛川市長
・市内学生による楽器演奏(現在調整中)
・テープカット
・内覧会

2 その他

(1) 「まちかど LABORATORY」について

コロナ禍にあっても、掛川市民が、これまで行っていた文化芸術活動を諦めず、新たなひらめきを形にするなど、街角で様々なことにチャレンジできる場としていくため、実験場、研究室の英語呼称「LABORATORY」とした。



(2) 目指す方向

- ① 身体と心の健康増進、豊かな想像力と感性の育成、豊かな人生の実現の推進
- ② コロナ禍後の文化芸術活動に求められるイノベーションについて、リモート、オンライン、他、新たなコミュニケーションのあり方等を検証

ノートルダム大聖堂ステンドグラス修復のための寄付金贈呈 ～ 在日フランス大使館へ送金 ～

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

【概要】

掛川市ステンドグラス美術館に携わる関係者が発起人となる「ノートルダム大聖堂ステンドグラス修復支援の会」が、2019年に大規模火災により被害を受けたノートルダム大聖堂ステンドグラスを修復支援するため、市民等からの寄付金 10,608,267 円を在日フランス大使館へ送金しました。在日フランス大使館より感謝状等も届いておりますのでご報告させていただきます。

また、ノートルダム大聖堂ステンドグラス修復のための寄付金贈呈に関する動画を作成しました。下記の二次元コードよりご視聴いただけますのでご覧ください。

【内容】

- 1 送金日 令和3年5月31日（月）
- 2 送金先 在日フランス大使館
- 3 贈呈者 ノートルダム大聖堂ステンドグラス修復支援の会 発起人代表 鈴木 政昭
【発起人メンバー】掛川市ステンドグラス美術館 館長 日比野 秀男
顧問 志田 政人
副顧問 草間 幸子
- 4 送金額 10,608,267 円
- 5 事業主体 公益財団法人 掛川市文化財団
- 6 添付資料 感謝状の写し
- 7 その他 寄付金贈呈に関する動画の二次元コード ↓



■本件に関する担当者

(公財) 掛川市文化財団 小田（電話：0537-21-1353）
文化・スポーツ振興課 石川（電話：0537-21-1126）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。



**AMBASSADE
DE FRANCE
AU JAPON**

*Liberté
Égalité
Fraternité*

N° 2021-0264984

L'Ambassadeur

Tokyo, le 4 juin 2021

Monsieur le directeur,

Les services de cette Ambassade ont reçu, le 31 mai, une importante donation de la part de la Kakegawa cultural foundation, transmise par votre intermédiaire, pour la reconstruction de la cathédrale Notre-Dame de Paris, ravagée par un incendie le 15 avril 2019.

Au nom de l'Ambassade de France et des autorités françaises, je souhaite remercier la Kakegawa cultural foundation pour cette marque de solidarité vis-à-vis de la France.

Plus de 40 entreprises et de nombreux corps de métiers interviennent aujourd'hui sur le chantier de Notre-Dame pour assurer la sécurisation du site et conduire la restauration de la cathédrale. Ces opérations sont rendues possibles notamment grâce à la solidarité et la générosité des nombreux amis de la France à travers le monde. La contribution de la Kakegawa cultural foundation en est un témoignage précieux, qui viendra utilement soutenir les efforts collectifs pour rebâtir Notre-Dame.

Je vous prie d'agréer, Monsieur le directeur, l'expression de toute ma considération.

Philippe Sexton

M. Tsutomu ODA
Directeur administratif
Kakegawa Cultural Foundation
1-3-5 Nagaya,
Kakegawa-shi
Shizuoka 436-0047

(訳文)

2021年6月4日

文書番号 第 2021-0264984 号

公益財団法人 掛川市文化財団

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

5月31日付けで当大使館は、2019年4月15日に火災で一部が消失したパリのノートルダム大聖堂の復興のための、掛川市文化財団から寄せられた多大なるご寄付をありがたく拝受しました。

フランス大使館を代表して、またフランスの関係当局に代わりまして、フランスに対してお示しくださった連帯のお気持ちに対して、掛川市文化財団の皆様には感謝申し上げます。

現在、大聖堂の安全を確保し、消失部分を再建するべく、現場では40社以上の企業および大勢の腕利きの職人が作業を進めています。これは、世界中の大勢のフランスの友人達の連帯と寛大なるお気持ちによって実現しているものです。貴文化財団のご厚意もノートルダム大聖堂の復興に大きく寄与するものです。

敬具

駐日フランス大使
フィリップ・セトン

掛川市 記者会見資料 No.3-1

中東遠総合医療センター第33回 医療市民講座
「正しく知ろう皮膚がん」
「脳卒中と脳神経外科～脳卒中はFASTとTime is brain～」

【目的・概要】

中東遠総合医療センターでは、健康や病気への取り組み、最新医療に関するテーマで年4回程度、公開講座を開催しています。当院に勤務する医師・スタッフが、分かりやすくなる講座を目指して実施します。

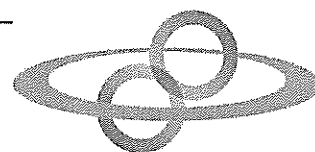
【アピールポイント】

- ・医療市民講座は今回で通算33回目となります。
- ・今回の講師は、皮膚科・皮膚腫瘍科の大塚 正樹医師と脳神経外科の市橋 鋭一医師です。
- ・大塚医師は、静岡県西部で唯一となる日本皮膚科学会認定の皮膚悪性腫瘍指導専門医です。市橋医師は、中東遠地域の基幹施設として24時間365日、脳卒中疾患に対応する当院の脳神経外科を開院からけん引する日本脳神経血管内治療学会認定指導医です。

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | と き | 令和3年7月31日(土) 午前10時～正午 |
| 2 | と ころ | 中東遠総合医療センター 3階大会議室(掛川市菖蒲ヶ池1-1) |
| 3 | 主 催 | 掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター |
| 4 | 内 容 | 演題①「正しく知ろう皮膚がん」
講師：大塚 正樹 医師(皮膚科・皮膚腫瘍科診療部長)
演題②「脳卒中と脳神経外科～脳卒中はFASTとTime is brain～」
講師：市橋 鋭一 医師(副院長 兼 脳神経外科統括診療部長) |
| 5 | そ の 他 | 入場無料、要申込、定員100名(先着順) |
| 6 | 申 込 | 住所・氏名・年齢・電話番号を電話、FAX、病院ホームページ申込フォームから(申込期間…7月28日(水)まで) |
| 7 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無(一般駐車場をご利用ください) |
| 8 | 問 合 せ | 経営戦略室 電話 0537-21-5555(代) FAX:0537-28-8971(代) |

■本件に関する担当者

担 当 中東遠総合医療センター経営戦略室 釜・戸塚
電 話 0537-28-8920(直通)





掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター

第33回 医療市民講座

日時

2021年 **7月31日(土)** 10時～正午
(開場9時30分)

場所

中東遠総合医療センター 3階大会議室
(掛川市菖蒲ヶ池1-1)

ご参加の際は、感染症予防のためマスクの着用と筆記用具の持参にご協力ください。

定員100名(予約制・先着順)・入場無料

講演

1 正しく知ろう皮膚がん

皮膚科・皮膚腫瘍科診療部長
大塚 正樹 医師

2 脳卒中と脳神経外科

～脳卒中はFASTとTime is brain～

副院長 兼 脳神経外科統括診療部長
市橋 鋭一 医師

申込み

申込期間：6月14日(月)～7月28日(水)

下記いずれかの方法でお申し込みください。

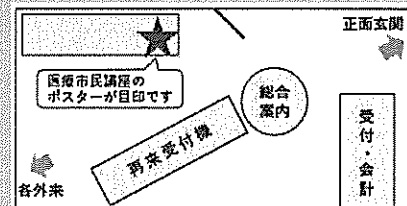
電話・FAX



HP申込フォーム



窓口(再来受付機向かい専用BOX)



申込み・問合せ 中東遠総合医療センター経営戦略室 ☎0537-21-5555(代)

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、延期になる可能性もあります。

二の丸美術館で「第49回伝統工芸日本金工展」 国内最高峰の金工展、県内初

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ **県内初** ・ 全国初 ・ 珍しい

【概要】

この展覧会は、広く一般金工作家から新作を募り、入賞・入選した現代金工の最高峰の作品を展覧する公募展です。日本に古くから伝えられている金属工芸の保存・発展や、金工作家の育成を目的に、公益社団法人日本工芸会が主催しており、静岡県内での開催は初めてです。

彫金・鑄金・鍛金など、あらゆる金工技法を用いて制作された工芸作品が展示され、卓越した技術で制作された作品を間近に見ることができます。

また、掛川市出身の重要無形文化財保持者（人間国宝）である、大角幸枝先生の作品も展示される予定です。

【内容】

- 1 と き 令和3年8月7日(土)～10月8日(金)
- 2 と ころ 掛川市二の丸美術館（住所）掛川市掛川 1142-1
- 3 主 催 （公社）日本工芸会、（公財）掛川市文化財団、掛川市
- 4 内 容 第49回伝統工芸日本金工展
- 5 駐 車 場 有 ・ 無（場所）掛川市二の丸美術館身体障害者用駐車場
- 6 資料の添付 有 ・ 無

■本件に関する担当者

文化・スポーツ振興課 石川・石黒（電話：0537-21-1126）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。